

システム情報工学研究科特定課題研究報告書概要

年 度	平成 21 年度	学位名	修士(ビジネス)
専 攻	経営・政策科学	専攻	著者氏名 高地 祐史
指導教員氏名 高安 雄一			
報告書題目 「持続可能な未来」のための CSR 活用方法の提案 (マーケティングにおける CSR の援用～味の素ゼネラルフーズに対するコース・リレイテッド・マーケティング戦略の提案～)			
報告書概要 <p>本稿では、企業の戦略的な CSR マーケティングの活用方法として、企業の社会貢献と経済性を両立する戦略的な手法として、近年注目を集める CRM を取り上げた。先行研究を踏まえたうえで、AGF に対するヒアリング調査等から収集した定性データ及び日常生活における消費者の社会的価値行動に関する各種アンケート調査等の定量データの分析を用いて AGF に対する CRM 戦略の立案、提案を行った。具体的には、伝統的なマーケティング戦略策定プロセスに沿った分析の結果から、AGF に対し、「環境・エコ」のコースを選択し、「詰め替えタイプインスタントコーヒー分野における CO2 排出権付きカーボンオフセット型商品」による CRM を提案した。また、「詰め替えタイプインスタントコーヒー、一袋の購入に付き 1kg の CO2 削減に貢献する」という大規模な CRM キャンペーンを、店頭における訴求を効果的に実施することで、早期に「環境・エコ」分野における先進的な企業イメージを確立し、メインターゲットである日常の手軽な社会貢献を求める主婦層を取り込むことで市場全体のシェアを拡大していく必要があることを指摘した。</p> <p>また結論として、AGF に対する CRM 戦略の提案から明らかとなった CRM 戦略策定プロセスの全体の流れ及び各ステップにおけるマネジメント上のポイント、付随して発生する解決すべき課題に関して考察を加えた。</p>			
審査日	平成 22 年	2 月	3 日
審査員	(大学名 職名)	(学位)	(氏名)
主査	筑波大学 教授	Ph.D. in Sociology	松田 紀之
副査	筑波大学 准教授	Master of Science in Financial Economics	高安 雄一
副査	筑波大学 准教授	Ph.D. in Organizational Behavior	渡辺 真一郎